



まつざき真琴

県議会ニュース

日本共産党

鹿児島県議会ニュース
2012年5月20日号

発行/日本共産党鹿児島県議団 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
★TEL/FAX 286-3977 E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com ホームページ http://jcp-kagoshima.com
★ブログ『まこっちゃんのいっぺこっぺ奮闘記』http://matsuzakimakoto.synapse-blog.jp/

ごあいさつ

新緑まぶしい季節です。お元気ですか。

まもなく6月議会が始まります。原発問題では、再稼働をめぐる重要な局面を迎えます。

原発の特別委員会や初めての企画建設委員会のための準備中です。

ぜひ、ご意見やご要望をお寄せください。

川内原発



再稼働させない連携を

日置市や阿久根市、長島町を訪問

まつざき真琴県議は、川内原発1・2号機の再稼働をめぐる、原発の危険に反対する鹿児島県連絡会と共に、日置市や阿久根市、長島町を訪問しました。

日置市では、震災直後の昨年3月、市議会が川内原発3号機の増設凍結の決議を全会一致で可決。市長名で川内原発から30km圏内の9市町と一刻も早い「原子力安全協定」の締結と1、2号機の段階的な廃炉を九電に申し入れていました。

宮路高光市長は、4月28日発足の「脱原発をめざす首長会議」に参加しています。市長は「市民の安心・安全が第1。九電には、今後も周辺自治体と連携をとりながら、安全協定の締結を申し入れていく。」と強調



宮路高光日置市長(右側)と懇談するまつざき真琴県議

しました。また、今回の福島第1原発事故の周辺自治体への被害の広がりにも触れながら、「原発に頼らない地域づくりが必要。私は、農業などの第1次産業を守ってきたい。」と語りました。

長島町の川添健町長は、川内原発で事故が発生すれば、長島町へは、直接被害が及ぶことを心配しながら、エネルギー政策の転換が必要であると述べました。長島町は風力発電を行っており、平成20年10月に作られた21基でふつうの家庭の3万世帯分を発電するといわれています。長島町と出水市の世帯数の電力を賄えることとなります(長島町HPより)。

まつざき県議は、伊藤祐一郎知事が、再稼働にあたっては、県と薩摩川内市のみで構わないと発言していることに触れ、「福島での被害の広がりを見ると、周辺自治体も地元と考えるべき。ぜひ、周辺自治体と連携し、県に対して、住民の安全を守る立場で、意見を出してほしい。」と要望しました。

原発がれき問題 政府交渉を行います。

まつざき真琴県議は、九州沖縄ブロックの議員らと共に24日(土)、下記の項目で政府交渉を行います。

1. 原発の再稼働は実施しないこと。(経済産業省)
 - (1) 定期点検中の原発はすべて再稼働を実施しないこと。
 - (2) 九州・玄海原発と川内原発についても当然、再稼働を認めないこと
 - (3) 川内原発について、再稼働とともに、増設についても絶対に認めないこと。
2. 政府は原発に依存しない電力の需給計画の策定に英知を結集すること。(経済産業省)
 - (1) 原発を基幹エネルギーとする考え方から脱却し、原発ゼロを前提に、電力の適切な供給計画を策定すること。電力料金の引き上げは行わないよう指導すること。
 - (2) 再生可能エネルギーの開発と普及をいそぐこと。
3. ガレキ処理問題について(環境省)
 - (1) ガレキ総量の見通しについて
 - (2) 政府の計画と広域処理の位置づけについて
4. 半導体関連の工場閉鎖問題について(経済産業省)

など

2012年度の議会構成をお知らせします。

●副議長選挙が行われました
選挙結果

たけ昭一 (自民党) 50票
まつざき真琴 (共産党) 1票

●所属委員会が決まりました。

企画建設委員会
原子力安全等対策委員会
災害対策協議会
桜島火山対策協議会